



齋藤 徹 議員

1、本市における史跡、碑等の管理、体制と活用について

Q ①本市では、縄文時代から続く歴史的価値の高い貝塚や史跡が市内各所に点在しているが、管理体制は万全か。

A ②地名の由来、有力者住居跡や生誕地があるが、地域住民の興味関心は薄い。住民理解を促すための具体的方策は。

③文化財保護のためには

Q ①本市では、縄文時代から続く歴史的価値の高い貝塚や史跡が市内各所に点在しているが、管理体制は万全か。

A 住民理解が重要となる。地域の歴史に対する興味関心や郷土愛を育むためには、コミュニケーション・スキル等の活用も必要と思うが、本市の対応は。

教育長 ①本市は、国、県、市指定文化財や未指定文化財、歴史資料が存在する。指定文化財に関しては毎年、現状を確認してい

る。

未指定文化財においてもパトロールを通じて現状を確認している。標柱等の管理については除草等を含めた管理を順時進めている。

②奥松島縄文村での里浜貝塚、縄文に関するイベント、野蒜築港跡、東名北上運河に関するフォーラム、赤井遺跡、矢本横

穴墓群を紹介する展示、講演会を継続して開催している。

提案にあったウェブ博物館も周知手法の一つとして前向きに検討する。

③郷土愛を育むための学習は、コミュニケーション・スキルにおける地域人材の活用も必要。

教育委員会としては、学校や地域の特色や地域の資源・人材を活かした取組を推進し、地域に対する興味や郷土愛を育みたいと考える。



▲本市文化財への利活用が期待されるWEB博物館
ひろしまWEB博物館ロゴ（広島市文化財団の利用許諾を得て掲載）

平成30年8月1日発行



▲駅改修、南北連絡路に一步前進する用地交渉（駅北側）



小野 恵章 議員

- 1、JR矢本駅および周辺施設について
- 2、市政懇談会の検証はいかに
- 3、中体連助成金予算の柔軟な対応を望む

Q ①JR矢本駅および周辺施設の検討状況と政策判断は。

②矢本駅駐輪場の次年度改修計画について。

③市政懇談会における課題の検討状況を、市民へ返答すべきであり、地域自治会単位の開催を。

④中体連助成金予算の柔軟な対応を望む。

Q ①JR矢本駅および周辺施設の検討状況と政策判断は。

市長 ①矢本駅は市の玄関。南北をつなぐ連絡通路の実現を目指し、北側駐車場跡地の用地取得に向けて交渉している。連絡通路は避難路としての役割も期待される。

具体的な整備計画については、これまでもJR東日本仙台支社へ要望はしているが、JR等関係

機関との調整や整備経費等の課題もあり、今後順を追って進める。

②矢本駅駐輪場は、25台分は屋根が設置済み、172台分が未整備で降雨時や降雪時に、ご不便をお掛けしている。矢本駅北側への設置も検討していることから、96台分に屋根を設置する計画で、照明も設ける。

③検討や課題とされたものは、担当課へ検討を指示し、事業の優先度や予算を考慮しながら進めている。要望事項等への対応状況等については、秋頃までにまちづくり協議会あてに示したい。自治会等での開催要望があれば、相談の上応じたい。

市長・教育長 ④上位大会への出場に伴い保護者負担が増すなど費用負担について、中学校が苦慮も承知。負担軽減に向け努力する。

Q JR矢本駅改修の政策判断を!!

A 南北連絡通路実現へ用地交渉

